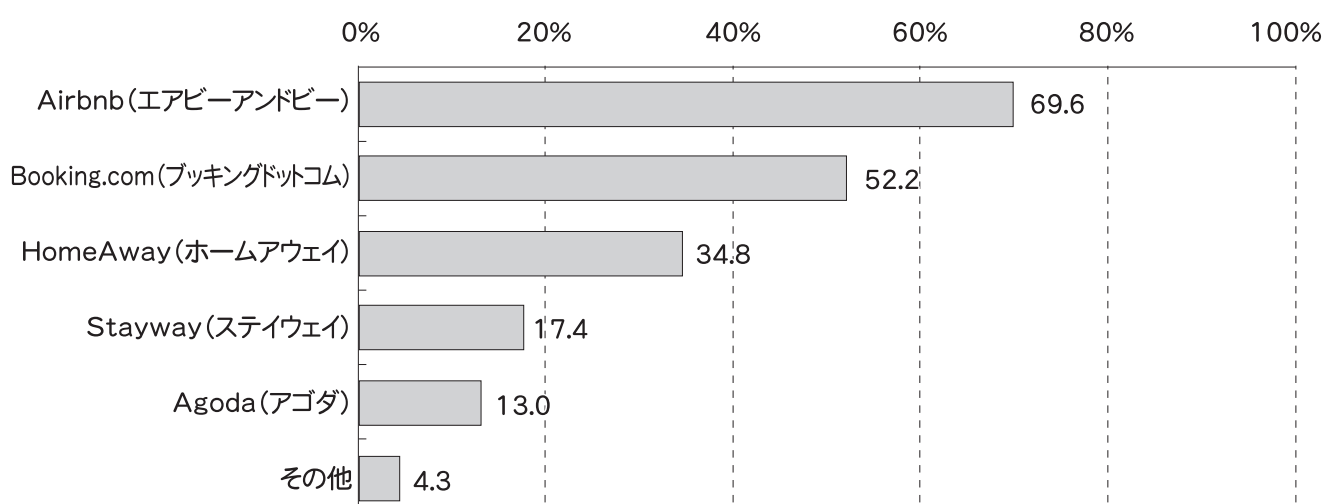


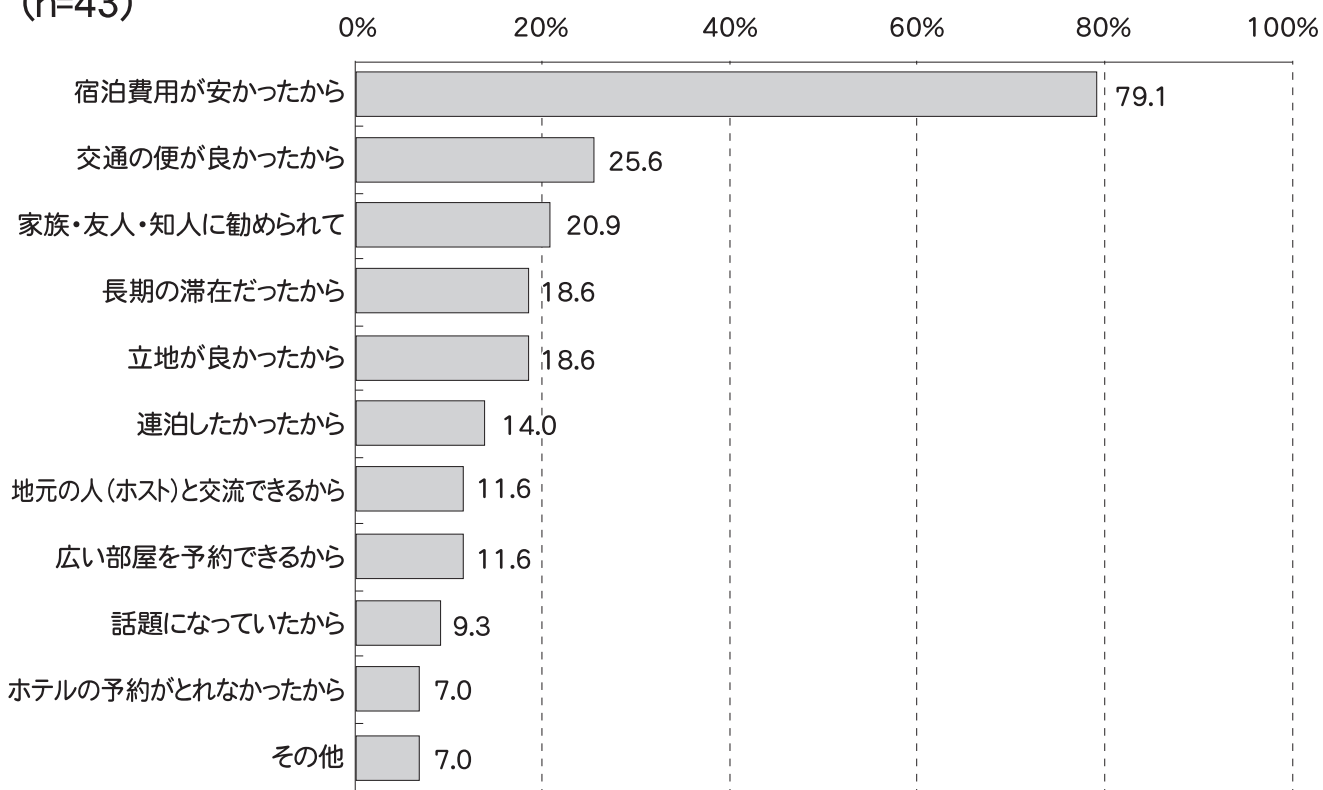
民泊新法、6割の人が認知

マクロミル「民泊に関する調査」

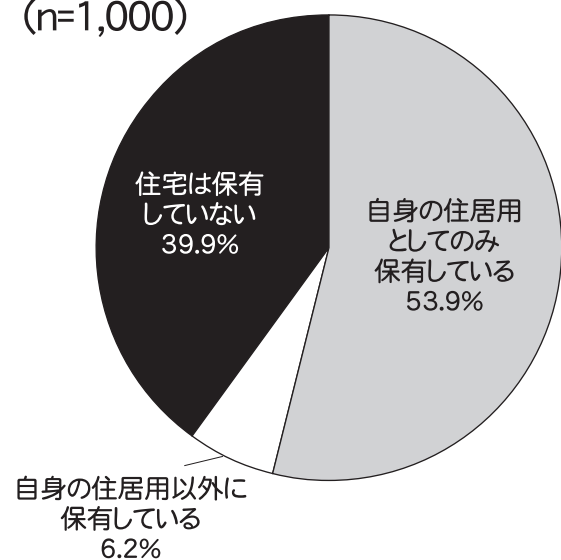
Q.では、「民泊」の予約時にお使いになったアプリ・サイトを教えてください。
複数ある方は全てお選びください。
(n=23)



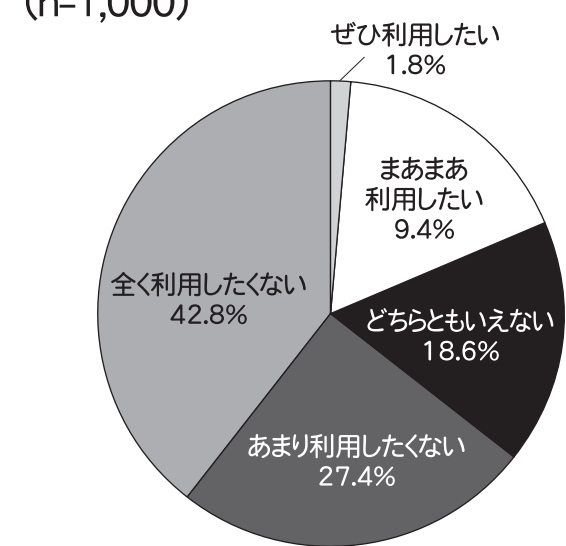
Q.「民泊」した際のことをお聞きします。
なぜ、あなたは「民泊」しようと思ったのですか？
理由としてあてはまるものをすべてお選びください。
*複数回利用したことがある方は、直近の利用に関してお答えください。
(n=43)



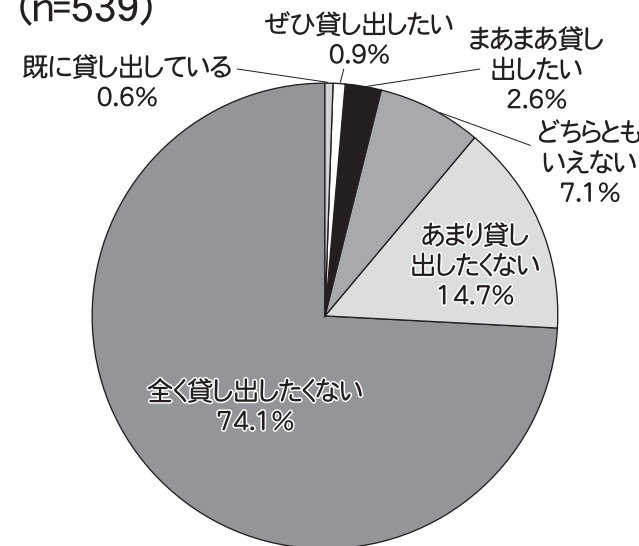
Q.あなたは現在、住宅(戸建、分譲マンション、別荘等)をお持ちですか？
以下の中から、あてはまるものをお選びください。
(n=1,000)



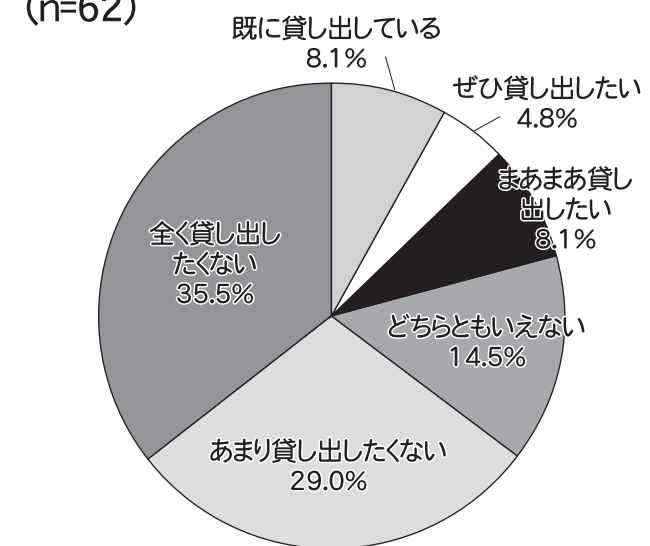
Q.あなたは、今後ご自身の旅行(出張含む)の際に、「民泊」を利用したいと思いますか？
あてはまるものをお選びください。
(n=1,000)



Q.続いては、「民泊」の運営・レンタルについてお聞きします。あなたは今後、ご自宅、もしくはご自宅の中の一部のお部屋を、民泊として貸し出したいと思いませんか？
(n=539)



Q.続いては、「民泊」の運営・レンタルについてお聞きします。あなたは今後、ご自身の持つ住宅(現在住まわれていないもの)を、民泊として貸し出したいと思いませんか？
(n=62)



インターネットリサーチ事業を展開するマクロミルはこのほど、「民泊に関する調査」の結果を発表した。これによると、6割の人が6月に住宅宿泊事業法(民泊新法)が施行されることを認知していた。利用経験、今後の利用意向はいずれも低調で否定的な姿勢が目立った。民泊の印象では、半数以上が「外国人向け」と回答した。

宿泊経験、利用意向 いずれも少なく

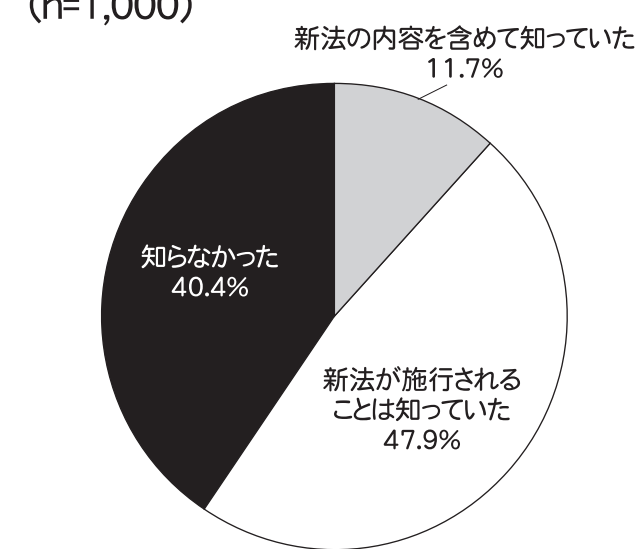
「民泊」という言葉を知っているか」との問いでは、「民泊」という言葉の意味を知っているとの回答が68.6%で最も多く、「言葉を知っていない」と回答した人は28.7%だった。また、「知らない」と答えた人は2.7%だった。民泊新法の施行は6割が「便利」「広い部屋に泊まれる」などの民泊の長所を挙げ、一方で「地域やホストとのふれあいがある」「あまり貸し出したい」「あまり貸し出さない」などのデメリットを挙げている。既に貸し出している人は0.6%、既に貸し出していない人は0.9%だった。

実際の利用経験では、「民泊」したことはない人が95.7%で圧倒的に多かった。民泊経験者43人の直近の民泊を利用した旅行先の内訳は、国内が88.4%、海外が11.6%だった。民泊アプリ等を利用して民泊をしたことがある人は全体の2.3%だった。

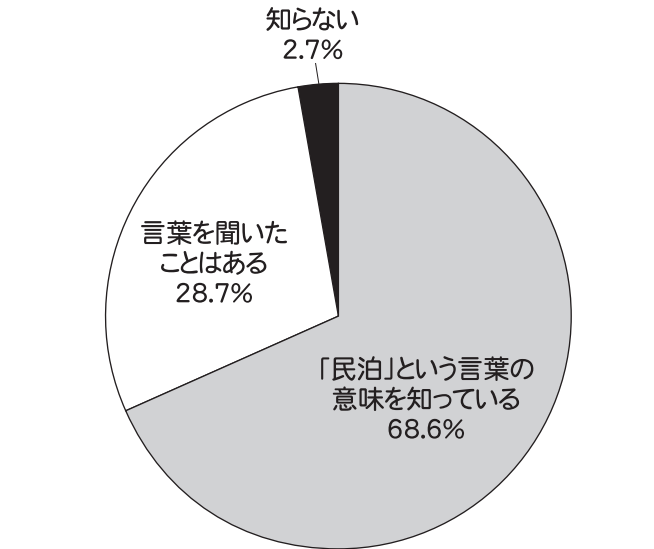
今後の民泊の利用意向については、「ぜひ利用したい」が1.8%、「まあまあ利用したい」が9.4%で、利用したいという考えは1割程度にとどまった。一方で「あまり利用したくない」は27.4%、「全く利用したくない」は42.8%で、7割以上が今後の利用に後ろ向きであることが分かった。

調査では民泊の運営、レンタルについても回答を求めた。住居用以外に住宅を保有している人は2.6%で、そのうち「既に貸し出している」人は0.6%、「既に貸し出していない」人は0.9%だった。

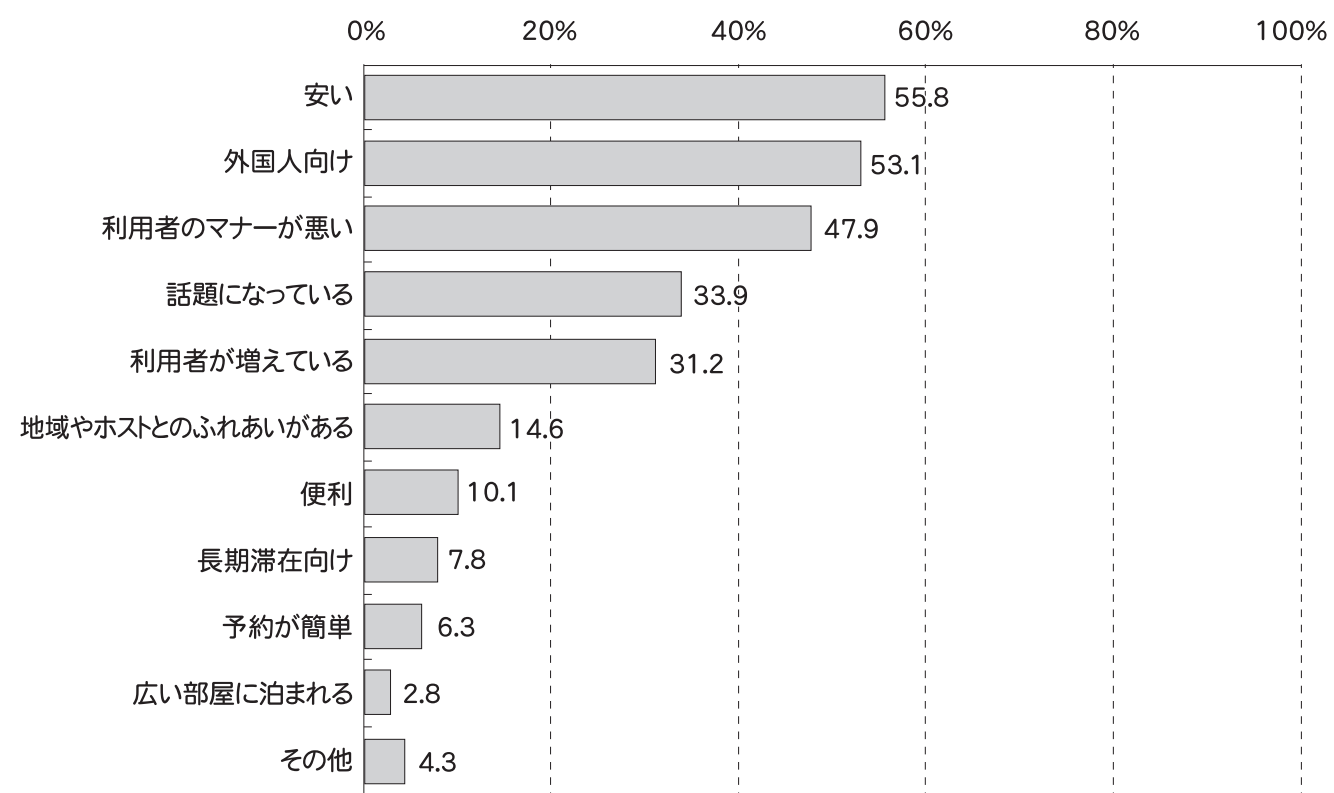
Q.2018年6月から、住宅宿泊事業法(通称:民泊新法)が施行されます。あなたはそのことをご存じでしたか？
(n=1,000)



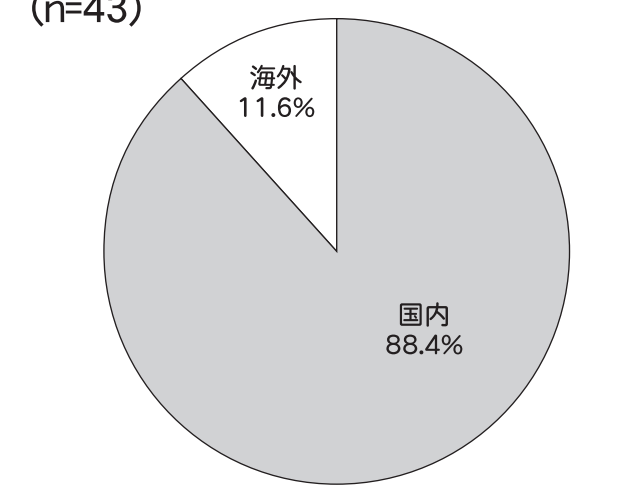
Q.あなたは「民泊」という言葉をご存じですか？
あてはまるものをお選びください。
(n=1,000)



Q.改めてお聞きします。あなたは「民泊」について、どのような印象をお持ちですか？
以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。
(n=1,000)



Q.「民泊」した際のことをお聞きします。どこへ旅行(出張含む)した際に民泊しましたか？
直近の1回について、国内か海外を選び、具体的な場所をお書きください。
(n=43)



Q.あなたはこれまでに、アプリやサイト等で予約し、「民泊」したことがありますか？
あてはまるものをお選びください。
(n=1,000)

